

公表:令和 3年 3月 25日

事業所名 ライオン

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置以上に配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			見通しを持ちやすいように構造化しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の掃除に加えて細目に消毒をしています。手洗い・消毒・換気を細目に行っています。	コロナ感染防止のため、細目に手洗い・消毒をしています。より安心して過ごせるように更に頻繁に換気・消毒をしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者一人一人と面談を通して事業所の評価を受け、意向を聞きました。	評価からの意見や改善点を検討し、業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け自己評価の結果を職員間で共有し、改善点を話し合いました。結果は年1回ホームページに公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からのコンサルを受けています。	コンサルからのアドバイスを元に業務改善していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修の機会がとて多くあります。	学ぶ機会に多く参加し、職員一人一人の専門性を高めるために努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者との面談や個別支援計画作成会議を通して一人一人の発達を踏まえ、支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援・家族支援・地域支援それぞれを大切に、一人一人に適切な支援を計画しています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達計画に沿った支援・関わりを行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案・週案の立案を職員間で話し合っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日のリズム・朝の会に加えて、外活動や行事・制作・わらべうた遊びをもちこんでいます。	制作の機会を増やしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日職員間で打ち合わせをしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で気付いた事をすぐに話せる関係を大切にしています。	職員間のコミュニケーションを大切にし、その日離せなかった時は翌日の朝に話せるようにしていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、一人一人の記録をとっています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に1度、モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて行われ、出席しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			法人内の保育園と交流の機会を多く持ちました。	法人内の保育園との交流機会を多く持ち、子ども達も関わりを喜んでいたので継続していきます。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			法人内の担当職員が参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート・保護者の送迎時等に、お子さんの事業所での様子を話しています。	親御さんと会って様子を話すことが難しい場合は、定期的に電話で話すようにしていきます。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者向けのCSP勉強会の機会をもち、参加を呼びかけている。	働いている等、CSPの勉強会への参加が困難な保護者への参加を検討していきます。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をしています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談し、児童発達支援計画を読みながら、今の状況と支援の内容を具体的に説明し、同意をもらっています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			月1回の事業所内相談に加えて随時、相談に応じて必要な支援を行っています。	事業所内相談支援の他にも日頃からのコミュニケーションを大切に、困り感をキャッチして制度や支援に繋げていきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母と先生の会として、職員も一緒に活動しています。	父母に負担がかかりすぎないように、職員も一緒に活動しています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			月1回の事業所内相談に加えて随時必要に応じて保護者の相談に応じています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			園だより・クラスだより等を配布し、活動の様子や行事予定等を知らせています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報に関わる書類等は、事業所の鍵付き書庫に保管しています。	
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ感染予防の観点から、今年度は機会がありませんでした。日頃から職員も子どもも出会った地域の方々への挨拶を心がけています。	継続して地域の方々への挨拶を職員も子どもも心掛けていきます。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルを作成し、事業所に掲示し、訓練は毎月行っています。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月の避難訓練・年1回の大避難訓練を行っています。	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			てんかん発作・アレルギー等のこどもの状況を確認把握しています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			クラスにアレルギーのある子が3名いるので、医師の指示書に基づき、母・給食室・クラスで連携し、除去食で対応しています。アレルギー対応マニュアルに沿って支援しています。	アレルギー対応は日々マニュアルに沿った支援をパートさんも含めた職員全員で徹底し、安全を守っています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは報告し合っ て共有し、再発防止に努 めています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人で虐待防止委員会 を設置し、法人研修で学 び合い、週に1回はアン ガーマネジメントのロー ルプレイを行い、法人全 体で虐待防止に努めて います。	関わりの中で大変になった時には、他の職員に助けを求め、又は助けに入ることを場面を想定して練習しています。実際の場面でも助け合えるようにしていきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			児童発達支援計画に記 載し、保護者に説明して います。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。